

林木育種に係るアンケート調査結果の概要について

森林総合研究所林木育種センターでは、次世代育種開発・普及方策の検討のため、本年5月から6月にかけて、各都道府県林木育種担当課の協力を得て、全国の林木育種に係るアンケート調査を実施。

(1) 回答数

・ 47都道府県

(2) 主な回答結果

① 担当職員数

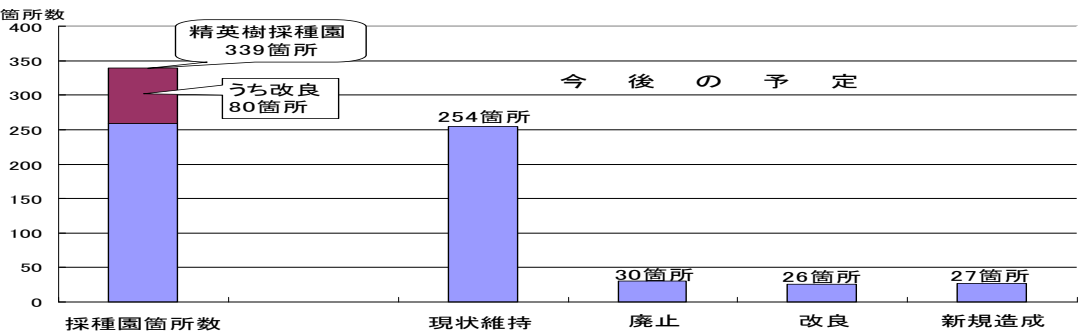
- ・ 全都道府県の林木育種担当職員数は、専任16名、兼任76名、計92名。
- ・ 1都道府県当たり専任0.3名、兼任1.6名、計2.0名。

② 研究員数

- ・ 全都道府県の林木育種関係研究員数は、専任29名、兼任54名、計83名。
- ・ 1都道府県当たり専任0.6名、兼任1.1名、計1.8名。

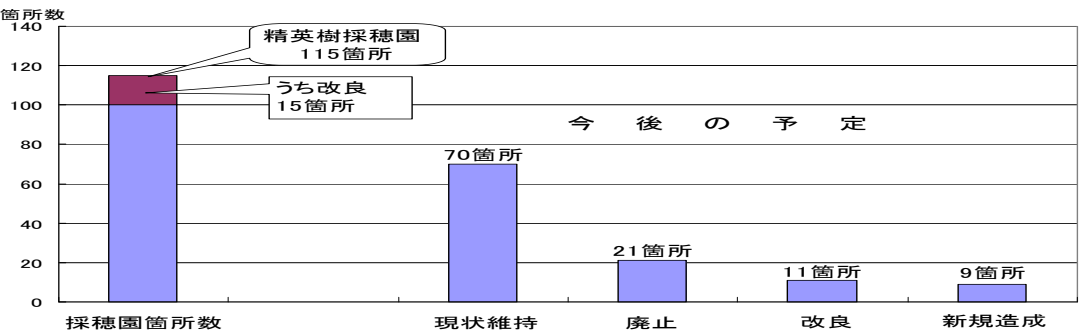
③ 精英樹の採種園

- ・ 全都道府県の精英樹の採種園は339箇所、改良済が80箇所のみ。
- ・ 今後の予定は、現状維持が254箇所、廃止30箇所、新規造成27箇所、改良26箇所。
- ・ 種子の譲渡は、有償が31都道府県で、無償が12都道府県、譲渡なしが1都道府県。



④ 精英樹の採穂園

- ・ 全都道府県の精英樹の採穂園は115箇所、改良済が15箇所のみ。
- ・ 今後の予定は、現状維持が70箇所、廃止21箇所、改良11箇所、新規造成9箇所。
- ・ 穂木の譲渡は、有償が12都道府県、無償が8都道府県、譲渡なしが6都道府県。



⑤ 第2世代精英樹の原種の配布希望

- ・当センターが第2世代精英樹の原種の供給を開始した場合、「希望する」が17都道府県、「希望しない」が1都道府県、「分からない」が28都道府県、「記載なし」が1都道府県。

⑥ 苗木生産業者数

- ・全国の苗木生産業者数は1,071業者で、1都道府県当たり24業者。

⑦ 苗木生産業者の種子の入手先

- ・苗木生産業者の種子の入手先は、都道府県採種園が約7割で、自己採種園が3%等。

⑧ 苗木生産業者の穂木の入手先

- ・苗木生産業者の穂木の入手先は、都道府県採穂園が約4割、自己採穂園が約5割等。

⑨ 林木育種を巡る課題・問題点

- ・造林面積の減少による苗木需要の減少とそれに伴う苗木生産業者の減少（11都道府県）
 - ・都道府県の予算・要員の減少（13都道府県）
 - ・採種園・採穂園の管理水準の低下（10都道府県）
- などが林木育種を巡る課題・問題点として記載されたところ。

⑩ 要望等

- ・より成長量及び形質の優れた造林樹種（2都道府県）
 - ・地域の実情に即した次世代品種の開発（3都道府県）
 - ・各都道府県との普及方法や対象品種の協議（1都道府県）
- などが要望等として記載されたところ。